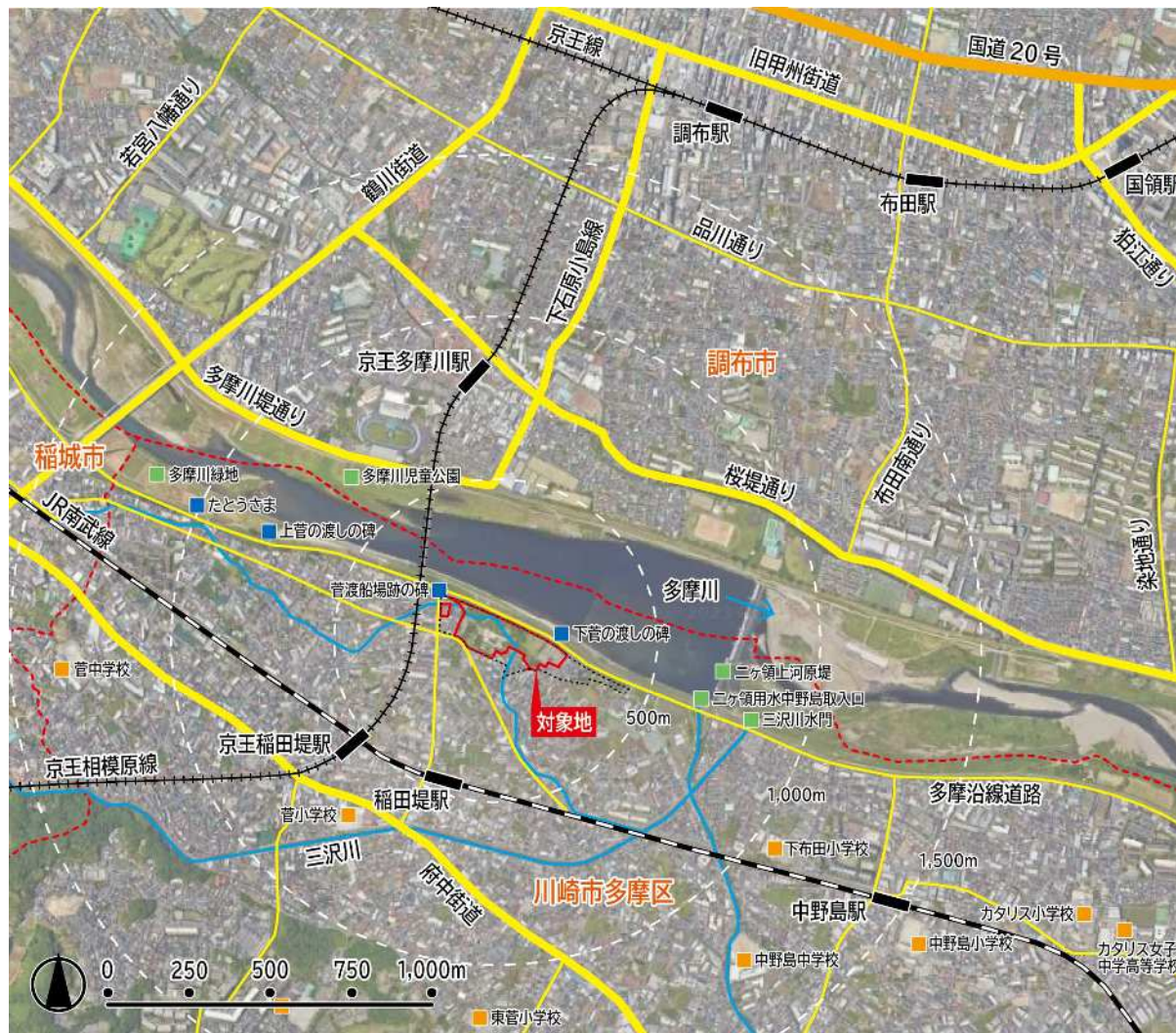


稲田公園の再整備事業について

① 稲田公園の概要



所在地：多摩区菅稲田堤2-9-1

管理面積：31,540㎡

主な公園施設：

- ・ 児童プール(有料)
- ・ せせらぎ
- ・ 桜の園
- ・ トイレ (2ヶ所)
- ・ 野球場
- ・ 駐車場 (有料) など

アクセス：

- ＪＲ南武線・稲田堤駅
より徒歩約8分 (約500m)
- 京王線・京王稲田堤駅
より徒歩約9分 (約600m)

② 稲田公園の特徴と課題

- 1) 周辺住民の利用が多く、特に週末は家族連れによる賑わいを見せています。また、近隣には認可保育所等が多数立地し、平日の日中には遊び場として広く利用されています。
- 2) 少年野球場や多目的広場では一般利用に加え、毎週定期的に少年サッカーチームが活動していたり、秋には保育園児等による運動会が開催され、賑わっています。
- 3) 公園全体が広域避難場所に指定されており、災害時には避難拠点となりますが、既存エントランス部分が狭小であるとともに、公園内にまとまった広さのスペースが確保できていません。
また、公園内には鉄筋コンクリート造の防災倉庫があり、各避難所へ補充するための食糧等が格納されています。



公園内利用状況（平日昼間）



広域避難場所（稲田公園）



稲田公園エントランス

- 4) 児童プールと多摩川の伏流水を利用したせせらぎは、長年、親水施設として利用されてきましたが、プールについては施設の老朽化や管理運営上の費用対効果が課題であり、市民ニーズ等に合った新たな親水機能の検討が求められています。

【令和4年度利用料収入 1,241,200円／年】

児童プール利用者数

	合計 (53日間)	7月 (10~31日(22日間))	8月 (1~31日(31日間))
平成31年度	7,004	2,054	4,950
令和2年度	1,050	0 ^{*1}	1,050
令和3年度	3,894	0 ^{*1}	3,894
令和4年度	7,182	3,496	3,686
令和5年度	8,203	3,933	4,270

*1：コロナ禍により施設閉鎖

- 5) 公園内には、入庫から2時間まで400円、以降加算される24時間利用可能な駐車場 (32台)が整備されています。

【令和4年度利用料収入 8,230,550円／年】

- 6) 稲田公園の都市計画公園区域内には、飛び地として市が所有する樹林地等が未整備となっているため、効果的な活用が課題となっています。



せせらぎの利用状況



駐車場利用状況 (平日昼間)



未整備部分の樹林地

③周辺環境の特徴と課題

- 1) J R 稲田堤駅周辺や稲田公園への道路沿いは、銀行やコンビニエンスストア等の商業店舗が立地し、人通りも多くみられます。
一方、公園と隣接する道路沿線には物販や飲食店が少なく、トイレ施設も不足しています。
- 2) 多摩川河川敷は「かわさき多摩川ふれあいロード」の名称で自転車歩行者道が整備されており、週末には多くのサイクリストによる利用が見られます。
また、公園付近の多摩川水面は流れが穏やかになっているため、魚釣りやスタンドアップパドルなどのレクリエーション利用者が見られます。
- 3) 稲田公園と多摩川河川敷は、横断歩道2箇所（信号機付き、信号機なし各1箇所）で接続され、往来する環境が整備されていますが、間に位置している多摩川沿線道路の自動車交通量が非常に多いこともあり、隣接する多摩川河川敷との回遊性が図り切れておりません。



④本事業の目的

(1) 老朽化した施設等への対応

- ・ 児童プール、トイレ（東西2箇所）、複合遊具等の施設の老朽化や、開設から50年以上経過しているため 園内樹木の巨木化等に対応する取組みが必要です。
- ・ 公園の再整備を効果的かつ効率的に実施するとともに、再整備後の公園施設について 持続可能な管理運営を行うため、民間活力の導入を検討しています。

【整備経緯】

昭和 16年	都市計画決定
昭和 44年	事業認可
昭和 45年	稲田公園（桜の園）整備 13,000㎡
昭和 46年	少年野球場、くじら広場整備 5,000㎡
昭和 53年	児童プール整備 2,500㎡
昭和 54年	せせらぎ整備 延長210m（水面積700㎡）
昭和 63年	防災倉庫整備
平成 5,6年	トイレ改修
平成 9年	複合遊具整備
平成 22年	防災広場整備

(II) 社会状況等の変化への対応

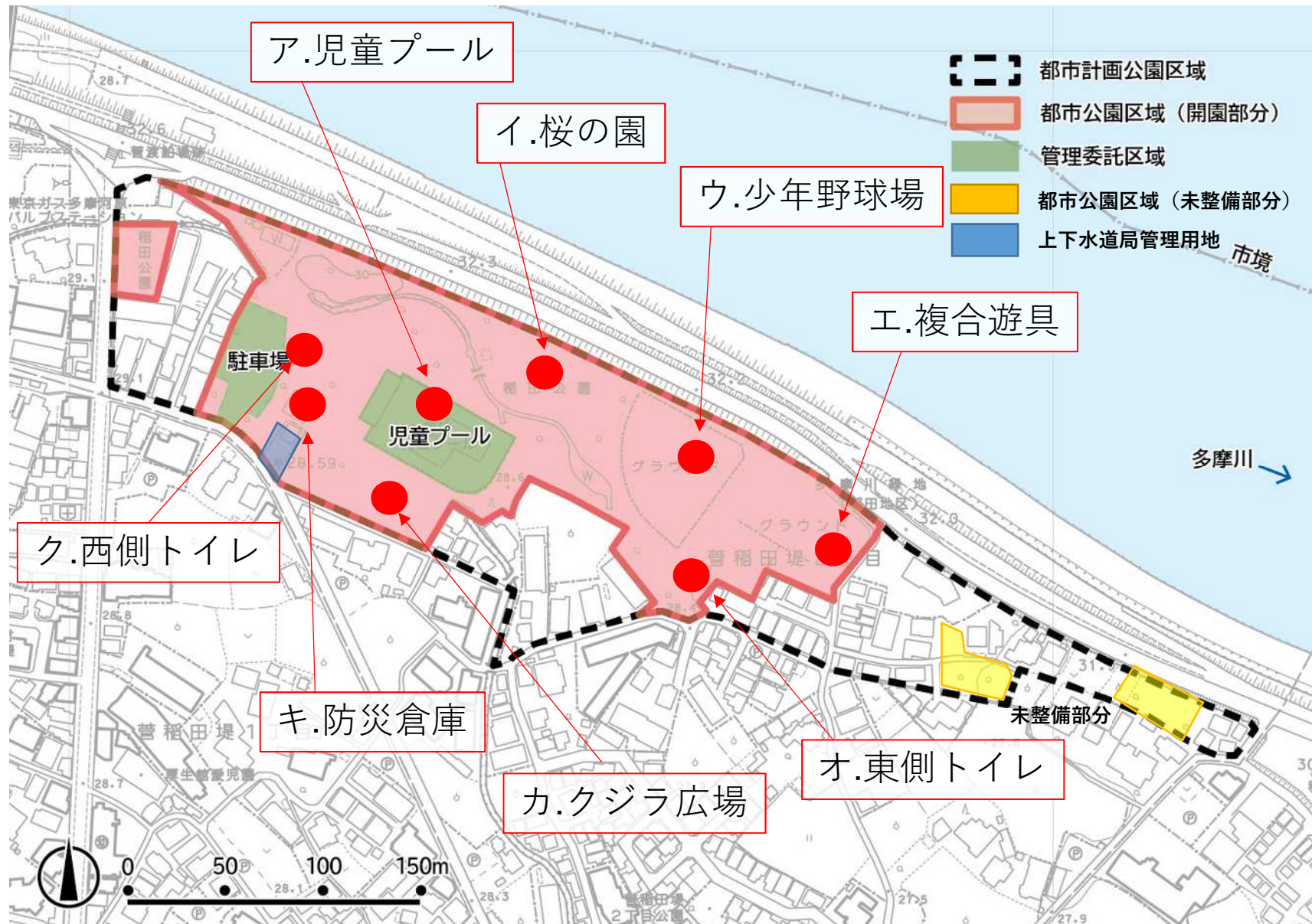
- ・ 開設当初に稲田公園に求められていたニーズに対して、時代の変容やコロナ禍などにより、多様化した利用者ニーズに対応するための取組みが必要です。
- ・ 頻発かつ甚大化する都市災害などに備え、公園として担うべき役割を整理し、ストック効果をより高めるため、防災機能向上に向けた取組みが必要です。



【本事業の目的】

- (I) 稲田公園の再整備に伴い、老朽化した施設等への対応を実施するとともに持続可能な管理運営の導入
- (II) 地域住民や公園利用者のニーズを把握し、より親しまれる公園を目指した再整備を行うとともに、防災機能の向上を図る

⑤老朽化がみられる公園内施設配置図



⑥ 老朽化がみられる公園内施設の状況





⑦本事業の目的達成に向けた方向性

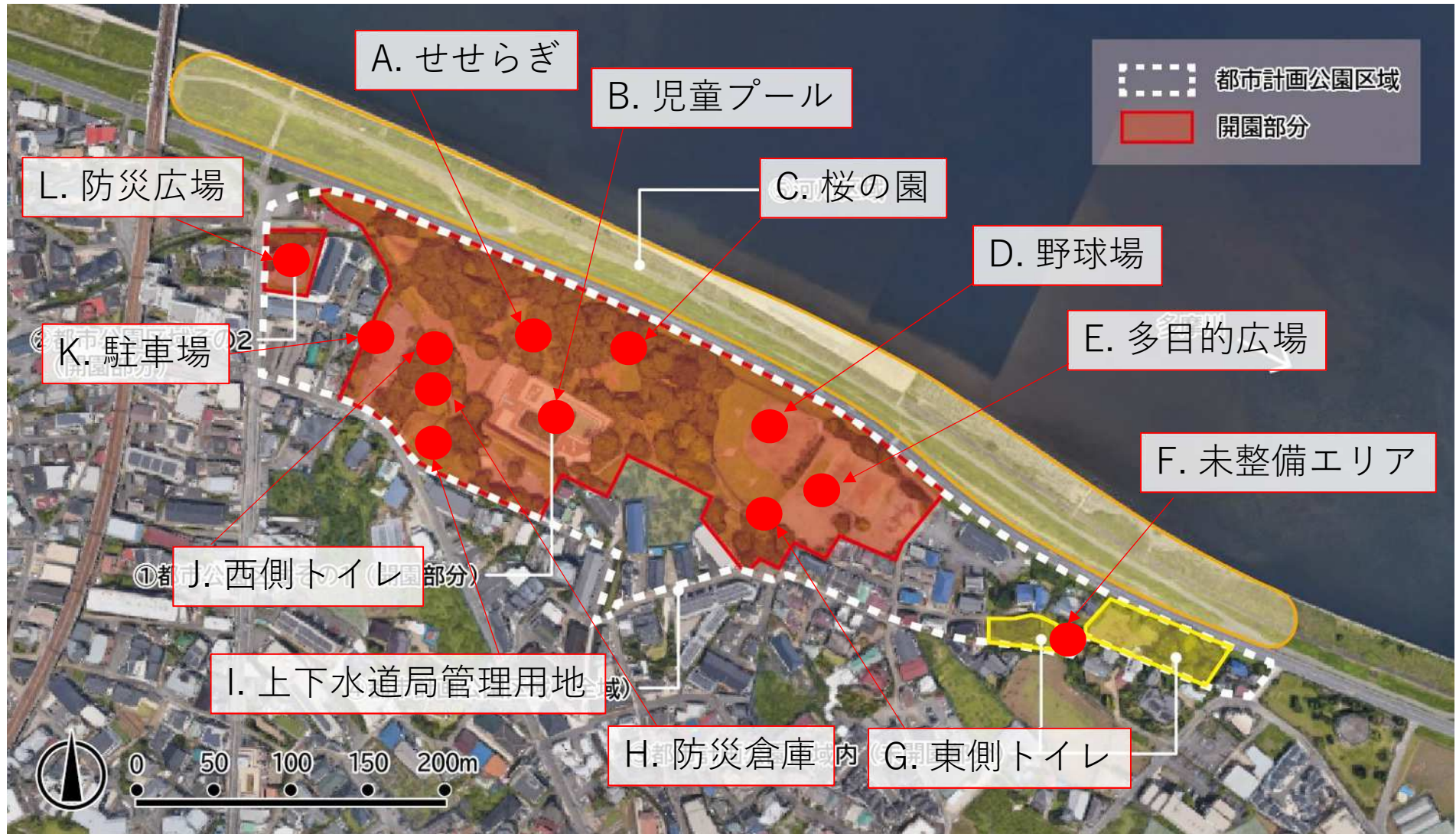
方向性（Ⅰ）老朽化した施設等への対策

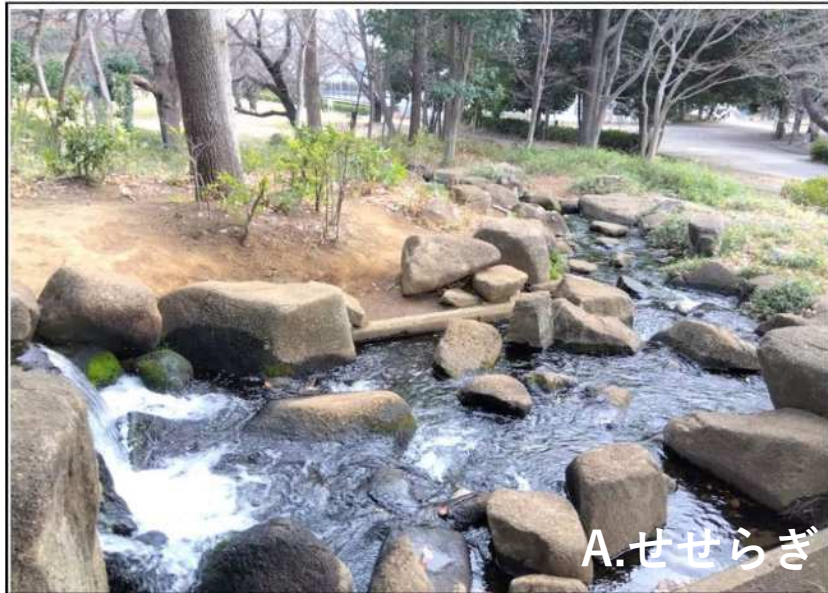
- 1) トイレ等老朽化した施設の再整備や巨木化した樹木の更新のほか、市民ニーズ等に応じた新たな親水施設を検討し、より充実した施設整備を目指します。
- 2) 公園の持続可能な管理運営に向けて、民間活力導入を視野に入れ、取組を進めます。

方向性（Ⅱ）より親しまれる公園の再整備

- 3) 多摩川河川敷の恵まれた自然環境と稲田公園を連携させ、サイクリストをはじめとする新たなニーズを呼び込むことで、稲田公園の賑わいを活性化させ、新たな魅力創出を目指します。
- 4) 伐採など維持管理費が発生している市所有の未整備部分について、民間企業のノウハウやアイデアにより、公園施設として有効活用を図り、市民の方々にとってより魅力ある公園施設を目指します。

⑧本事業で民間活力導入を図りたい施設









民間活力導入を図りたい施設一覧

施設番号	施設名	川崎市による再整備の可能性	民間提案による再整備の可能性	備考
A	せせらぎ		○	多摩川伏流水を汲み上げて利用している
B	児童プール	△	○	7, 8月開設、その他の時期未活用 常設プールの代替として新たな親水施設等の可能性
C	桜の園	○	○	巨木化した桜の間伐等、再配置を予定
D	野球場	○	○	少年野球による週末定期利用あり
E	多目的広場	○	○	少年サッカーなど平日定期利用（毎週金10～12時、毎週月15～18時） 多摩区役所道路公園センターで予約受付 インクルーシブ遊具等の可能性
F	未整備エリア		○	市が維持管理している遊休地
G	東側トイレ	○	○	自販機や休憩施設との複合施設等の可能性
H	防災倉庫		○	R C 構造（2階）、エントランス脇に配置
I	上下水道局 管理用地	○	○	既存公有地を公園へ編入し、エントランス部分を拡幅予定 隣接する駐車場との一体整備等の可能性
J	西側トイレ	○	○	水遊びする子供やサイクリストのための更衣室との複合施設等の可能性
K	駐車場		○	32台・24時間利用可能
L	防災広場		○	公園全体とは分断されているため一体的整備や 新たな施設活用等の可能性

 - 特に活用・整備を求めたい施設

△ - 新たな親水施設整備の可能性を含む

※再整備内容については、ヒアリング内容などを参考に、今後、庁内調整などを経て決定します。

⑨今後のスケジュール(想定)

令和6年3月	「稲田公園再整備のあり方」策定
令和6年度	民間活力導入の実現性について実証実験を実施
令和7年度～	民間事業者公募開始
	民間事業者決定
	稲田公園再整備工事開始

※上記スケジュールは、現時点における想定を示しており、民間事業者の提案等の状況を踏まえ、変更されることがあります。

⑩ 民間事業者様のご意見を求めたい事項

- 1) 事業目的を達成するために、稲田公園の整備・管理・運営にあたっての想定事業スキーム（P-PFI、PFI、指定管理者制度）等について
- 2) より親しめて、魅力ある公園を目指し、稲田公園の新たな施設整備や機能合築など活用方法等について
- 3) 本事業への民間活力導入に向けた実証実験を令和6年度に予定していることから、この実証実験への参画意向及び、参画する場合の内容、参画する際に必要となる設備や条件等について
- 4) 本事業実施にあたり、想定される懸念事項及び川崎市への要望について
- 5) 多摩川との回遊性向上に資するアイデア、相乗効果が見込めるイベント内容等について
- 6) 未整備エリアを活用する場合のアイデア、対応すべき課題等について
- 7) 防災機能向上に資するアイデアや啓発を促す取組等について